



クイックスタートガイド

内容物



イヤホン本体



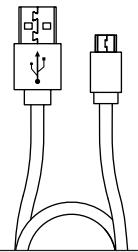
充電ケース



イヤーピース (S/M/L)



SpinFit® (S/M/L)

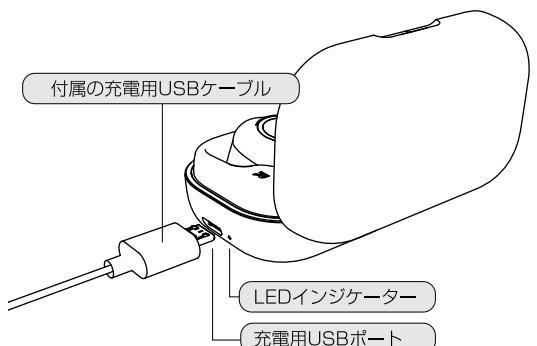


充電用USBケーブル

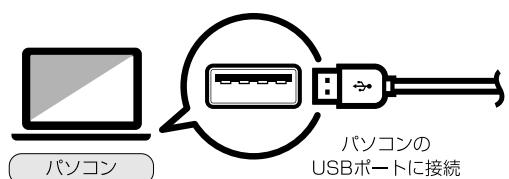
クイックスタートガイド (本書)
リファレンスガイド

最初に（本体を充電する）

イヤホンを充電ケースに戻し、充電ケースの充電ポートとパソコンのUSBポートを充電用USBケーブルで接続します。LEDインジケーターが青色の点滅状態から点灯状態に変わると充電完了となります。電池残量は、充電ケースに充電用USBケーブルを接続した時と充電ケースにイヤホンを収納した時にLEDインジケーターに表示されます。

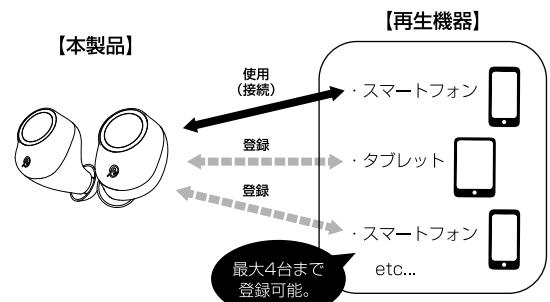


* 充電用USBケーブルを接続する際は、上下の向きに注意して強く押し込みすぎないようにしてください。充電用USBポートの破損の原因になる可能性があります。



* 本製品は電池残量が0%（充電ケースの青LEDが高速点滅状態）になった場合、その状態より復帰するのに0.7Aの電流が必要となります。ただし、一部PCでは、そのPCが所有しているUSBポートの供給電流が0.5Aの物が存在しております。そのようなUSBポートを使用した場合、電池残量が0%から復帰できませんので、その場合はAC/USBの変換アダプター（別売）をご使用ください。5V以上の出力がある充電器はご使用にならないでください。商品破損、火災の原因になる可能性があります。

複数の機器を登録する



本製品は最大4台の再生機器を登録する事ができ、そのうち1台が使用(接続)できます。

*4台の再生機器がある環境下では、直前に登録した物を優先的に接続します。
*4台以上再生機器を登録した場合、古い再生機器の登録情報から順に自動的に削除されていきます。

本体を接続する（初回ペアリング）

MS-TW3シリーズには初回自動ペアリング機能がついています。

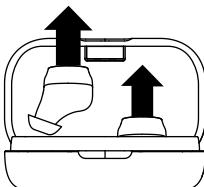
<ペアリングモード起動>

左右のイヤホンを充電ケースから取り出します。

*モノラルモードでご使用の場合でも、同様の手順でイヤホンを接続してください。

6秒ほど待つと左右のイヤホンが接続され再生機器とのペアリングが始まります。

*左側or右側イヤホンのLEDが青色・白色と交互に高速点滅します。
(イヤホンよりPairingとアナウンスが流れます。)



<再生機器との接続操作>

再生機器のBluetoothをONにし、新しく検索されたデバイスの中で"MS-TW3-L or R"を選択します。（イヤホンよりPairing successful ⇒ Connectedとアナウンスが流れ両耳よりビープ音が流れます。）

再生機器の画面の表示が"MS-TW3-L or R 接続済み"と変わった後、「Bluetoothペアリングの要求」というポップアップが表示されますので"ペアリング"を選択してください。再生機器の設定画面が下記のように表示されましたらペアリング完了です。

*どちらかの登録表示が"Headset"となっている場合がございますが特に問題はありません。"Headset"の表記は自動的に"MS-TW3-L or R"の表記に変更されます。



*デバイス名"MS-TW3-L or R"が検索されない場合は、Bluetoothの電源を1度OFFにし、再度ONにしてください。
それでもデバイス名が検索されない場合は手動でペアリングモードを起動させてください。

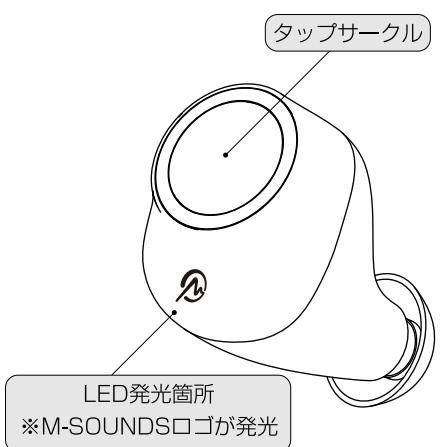
■手動でペアリングモードを起動

①左右のイヤホンを充電ケースより取り出します。

②左側のイヤホンのタップサークルを3回タップします。

③イヤホンの青色・白色LEDが高速で点滅はじめたら再生機器のBluetooth設定画面を開きBluetoothをONにし、新しく検索されたデバイスの中で"MS-TW3-L"を選択します。

④再生機器の画面の表示が"MS-TW3-L 接続済み"と変わった後、「Bluetoothペアリングの要求」というポップアップが表示されますので"ペアリング"を選択してください。再生機器の表記が左記写真のように表示されましたらペアリング完了です。



<モノラルモードの起動方法について>

右側(R)もしくは左側(L)どちらかのイヤホンのみ充電ケースから取り出します。Connectedとアナウンスが流れましたら接続完了です。

通話について



本製品は、ステレオ通話に対応している為、両耳で使用している時は電話の声がステレオで聞こえます。片耳で電話の声を聞かたい場合は、モノラルモードでご使用ください。

*2.4GHz帯の電波が多く使用されている環境下でご使用になると電波干渉により、通話ノイズが発生する可能性があります。

本体を装着する

初回ペアリングが済みましたら、下記のイラストのようにイヤホンを両耳に装着し、しっかりと耳に固定されているかご確認ください。
※イヤホンは左右別々の形状をしておりますので、イヤホンに表記されている表示を確認の上、装着してください。
もし、イヤーピースが大きい（小さい）ようでしたら、付属の別サイズのイヤーピースと交換ください。本製品はケーブルレスタイプのイヤホンですので、固定が甘いと使用中に製品が落下し紛失・破損につながる恐れがあります。

<イヤーピースの取付方法>

図のように取り付けます。
(左右の取り付け方は同じです。)

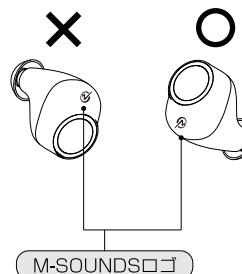
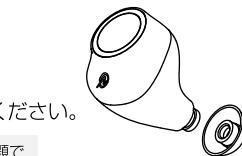
お好みで付属のSpinFit®をご利用ください。

※イヤーピースが小さすぎると密着面積の問題で
低音を感じにくくなることがあります。

<装着方法>

イヤホン本体の裏面にあるL/Rの表記を確認し、装着するイヤホン本体の上下の向きを確認します。

※イヤホン本体の上下の向きは、右図を参考にしてください。本体に対してイヤーピースが斜め下を向くように装着します。（M-SOUNDSロゴが上下逆さまにならないように注意）



イヤホンのイヤーピースを耳の穴に差し込みます。



イヤホンを持ち、前後にねじりながら耳奥に差し込みます。



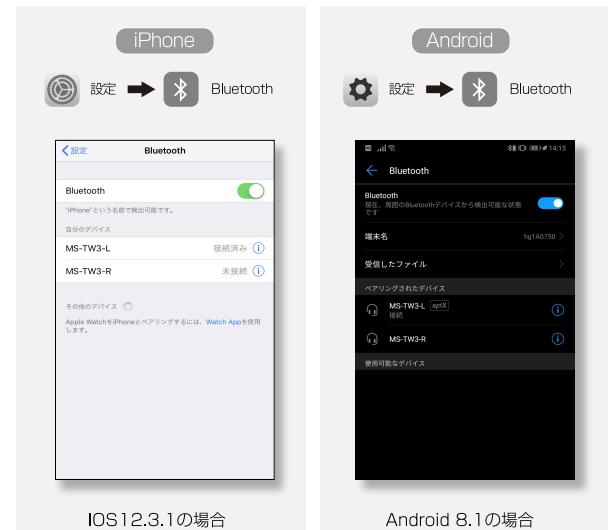
適度に耳の形にポジションを整えましたら装着完了です。

（左右の取り付け方は同じです。）



登録済み再生機器と接続する

再生機器のBluetooth設定画面を開きBluetoothをONにしてください。その際、画面上に"MS-TW3-L/R"が登録されている事を確認してください。



iOS 12.3.1の場合

Android 8.1の場合

充電ケースよりイヤホン（両耳）を取り出し、装着してください。
両耳よりビープ音⇒Connectedとアナウンスが流れましたら接続完了です。

※音楽が片側しか流れない場合は接続がうまくできていません。その場合は、一旦充電ケースにイヤホンを戻し、再度取り出してください。

充電ケースの電池残量の見方

■ 充電ケース

充電ケースに充電ケーブルを繋いだ時や充電ケースにイヤホンを収納した時に表示されます。

電池残量	LED の表示
0 ~ 5%	青 LED が高速点滅
5 ~ 25%	青 LED が 1 回点滅
25 ~ 50%	青 LED が 2 回点滅
50 ~ 75%	青 LED が 3 回点滅
75 ~ 100%	青 LED が 4 回点滅

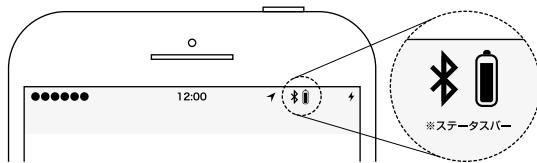
●電池残量が0~25%の時、充電ケースが低電圧モードとなり、直ぐに機能停止状態になってしまいますので速やかに充電してください。
また、低電圧モードになった場合イヤホンの電源を切断できなくなるため、イヤホンが充電ケースの中にある状態でも再生機器と接続してしまいます。その場合は再生機器のBluetooth設定を切ってください。

●必ず付属の充電用USBケーブルで充電してください。

●本製品を長期間使用しなかった場合、内蔵されている電池の性能が低下してしまう場合があります。
本製品を長期間使用されない場合は、月に1回を目安に充電を行ってください。

イヤホンの電池残量の見方

■ イヤホン ステータスバーでの電池残量表示



ウィジェットでの電池残量表示



※一部のスマートフォン、タブレットのみ表示されます。

タップサークルの操作方法

イヤホンのタップサークルで様々な操作が可能です。



下記タップコマンドを受け付けた時、イヤホンよりビープ音が鳴ります。

■ ステレオモードでの使用時

・ 音楽再生 / 通話時の操作

	L	R
音楽再生時	再生する	1回タップ
	停止する	2回連続タップ
	曲送り	—
	曲戻し	長押し
通話時	電話を受ける	1回タップ
	電話を切る	長押し
	着信拒否	長押し

※曲送り・戻しはビープ音が鳴りましたらタップサークルより指を放してください。指を外すと既定の動作が行われます。

・ 音楽の操作（音楽再生 / 通話時のみ）

	L	R
音量を上げる	—	1回タップ
音量を下げる	1回タップ	—

・ Siri / 音声コントロールの操作

	L	R
起動	3回連続タップ	3回連続タップ

※Siriが起動しない場合は、スマートフォンの設定画面でSiriがオンになっているか確認してください。Siriの起動は、停止時のみです。

お手入れの方法

本製品のイヤホン本体はJIS防水保護等級IPX7相当の防水性能を有しておりますので、突然の雨や汗の影響を気にせず運動中でも快適にご使用いただけます。また、汗などの汚れが付いた場合は流水で洗い流してください。水洗い後は乾いた柔らかい布で水分を完全に拭き取った後1~2時間程度乾燥させた後ご使用ください。

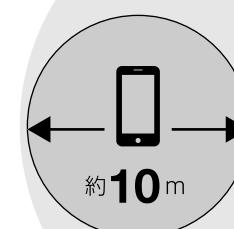
本体に水滴がついた状態で充電ケースに収納する事は絶対におやめください。

※充電ケースは防水仕様ではございません。

通信圏について

通信圏内

通信圏内にても障害物などの影響で、通信が遮断される場合があります。その場合は本体機器を置いている場所を変更してください。



ビープ音が流れ再生が一時停止状態になります。通信圏内に戻ると"Connected"とアナウンスが流れますので、再生ボタンを押してください。

2.4GHz 電波対策

本製品は2.4GHz帯の電波を利用しておきます。

電波の特性上、下記環境や、使用方法では通信が途切れたりする事がありますが、商品不良ではありません、ご容赦ください。

また、ポケットWifiを所持された状態で本製品を使用すると2.4GHz帯の電波干渉により通信が切れやすくなります。満員電車など2.4GHz帯の電波干渉が多い空間でも同様の通信途切れが発生する可能性があります。



信号機など交通信号システムが多く設置されている場所での使用

Wi-Fiアンテナが多く設置されている場所での使用

スマート等の本体機器が人体に接触している状態での使用（通信電波が弱くなる）